

市岡正一編輯
文部省
掲
国
小学連語問答



A 1

172



市岡正一編緝

文部省 掲圖小學連語問答

明治九年十月 錦耕堂發兌

2417

文部省
掲圖
小學連語問答

市岡正一 編緝

備

カ	ウ	○	○	伯	レ	ノ	ル	○	シ	シ	○
ヨ	ダ	姉	叔	父	○	モ	神	人	シ	シ	
キ	イ	妹	母	△	祖	○	主	人	シ	シ	
	ナ	△	△	父	父	△	宰	△	ヒ	カ	第一
		モ	母	△	△	△	△	△	ト	ミ	
		ウ	ネ	△	△	△	△	△	ト	ト	
		ト	イ	○	○	○	○	○	カ	カ	
		○	○	叔	祖	○	天	地	シ	シ	
		親	親	父	母	△	善	道	△	△	
		愛	子	△	△	△	△	△	ツ	ア	
		△	△	母	△	△	△	△	チ	メ	
		カ	コ	△	△	△	△	△	キ	○	
		ヨ	ヤ	兄	伯	○	萬	物	○	○	
		キ	コ	弟	母	△	信	義	△	△	
		ナ	ナ	△	△	△	△	△	ル	ア	
		○	○	友	愛	△	△	△	カ	ギ	
		友	愛	△	△	△	△	△	カ	ギ	
		愛	愛	△	△	△	△	△	カ	ギ	
		△	△	△	△	△	△	△	カ	ギ	
		ヤ	キ	△	△	△	△	△	カ	ギ	
		ヤ	キ	△	△	△	△	△	カ	ギ	
		ヤ	キ	△	△	△	△	△	カ	ギ	

小學連語問答

市岡正一編輯

文部省
揭圖
小學連語問答

明治九年七月 錦耕堂發兌

2417

小學連語問答

市岡正一 編輯



借

第一

カ	ウ	○	○	伯	レ	ノ	○	○	○
ヨ	ダ	姉	叔	父	○	祖	ノ	神	人
キ	イ	妹	母	△	父	父	△	主	宰
	ナ	△	△	父	△	△	△	△	△
		モ	母	兄	△	△	△	△	△
		ウ	ノ	姉	○	○	○	○	○
		ネ	姉	○	叔	祖	母	善	道
		ト	○	親	父	△	△	△	△
		イ	○	子	△	△	△	△	△
			○	△	母	△	△	△	△
			親	△	△	△	△	△	△
			愛	母	△	△	△	△	△
			△	兄	△	△	△	△	△
			カ	弟	△	△	△	△	△
			コ	○	伯	母	母	信	義
			ヤ	○	母	△	△	△	△
			ヨ	兄	△	△	△	△	△
			コ	弟	△	△	△	△	△
			キ	○	母	△	△	△	△
			コ	友	△	△	△	△	△
			ヤ	愛	△	△	△	△	△
			キ	△	△	△	△	△	△
			コ	友	△	△	△	△	△
			ヤ	愛	△	△	△	△	△
			キ	△	△	△	△	△	△
			コ	友	△	△	△	△	△
			ヤ	愛	△	△	△	△	△

○神の天地の主宰にして○神の天地の主宰にして
○人の萬物の靈なり△人ハ生サルモハテ中ニ

○善道を以て身を脩め△カ躬ヲ安泰クナシテ我
マタシ

○信義を以て人々交む△人ギリヲカタクシテ
○親子の間の親愛を主とし△カ親子ノ間弟ハナ

○兄弟の間の友愛を専ら△カ兄弟ノ際弟ハナ
弟ハ兄弟ヲウヤマタハリ

○親の父を祖父といひ△父チト母ハ父ハ祖
○親の母を祖母といひ△母バト母ハ祖母

○親の兄弟を伯父叔父といひ△父バト母ハ父ハ祖
○親の姉妹を伯母叔母といひ△母ト母ハ叔母

○親の姉妹を伯母叔母といひ△母ト母ハ叔母
○親の兄弟を伯父叔父といひ△父バト母ハ父ハ祖

○親の父を祖父といひ△父チト母ハ父ハ祖
○親の母を祖母といひ△母バト母ハ祖母

○親の兄弟を伯父叔父といひ△父バト母ハ父ハ祖
○親の姉妹を伯母叔母といひ△母ト母ハ叔母

○親の父を祖父といひ△父チト母ハ父ハ祖
○親の母を祖母といひ△母バト母ハ祖母

○親の兄弟を伯父叔父といひ△父バト母ハ父ハ祖
○親の姉妹を伯母叔母といひ△母ト母ハ叔母

○親の父を祖父といひ△父チト母ハ父ハ祖
○親の母を祖母といひ△母バト母ハ祖母

○親の兄弟を伯父叔父といひ△父バト母ハ父ハ祖
○親の姉妹を伯母叔母といひ△母ト母ハ叔母

○親の父を祖父といひ△父チト母ハ父ハ祖
○親の母を祖母といひ△母バト母ハ祖母

第二

○學校 △ンガシクヨモ ○書物 △ンホ ○手習 △イモシ
○算術 △バソシクヨモ ○事物 △ゴモトノ ○文字 △シコシ
△コケイ ○午前 △マヒ ○午後 △スヒル ○運動 △コハ

○遊歩 ガクウ △アルソキ

○學校より出づるの書物を讀み又手習とべし△

ガク 讀ヨクモリ手習ヲニユキテハ書物ヲ

○書物の事物の理を知り手習の文字の形を學

ぶ△書物ヲ讀ハメ文字ノ物形ヲカクノ書クコトヲケ

スイルコ

○授業の始り午前七時授業の終り午後三時ふ

イ△授業ノ終キハ午後三時テアルノ七時授業

○讀み書まの外の算術を學ぶべし△讀物ヲケ

ハリ 算術ヲ習ハツケイ誓古カクイリスナルサレ

○遊歩を爲はる運動の爲△遊歩ヲ致シタマ

アスタマステ

○運動を爲はる氣を散じ體を養ふ爲△運動

カハ 氣ヲ散シテ體ヲカマラスコヤ

○運動をわれば又書物を讀み手習し算術を學

ぶ△運動ヲシテ算術ヲ又書物ヲヨミタリ手習

第三

○其處△コロト○此處△コロト○何處△コイツ

○何時△ドナキ○往く△ケル○歸る△モド○彼

の△モテヨサ○此の△モノヲサス○彼△ヲサト

ス ○ 是 △ サモ スノラ ○ 近き △ ジキ ヨン ○ 遠き △ パエ ャン ○
 町 △ 十間六 ○ 里 △ 十一里三 ○ 朋友 △ チモ ○ 親類 △
 △ 十間六 ○ 學問 △ ヨミケイモコノ ○ 智識 △ シモリ ○
 家業 △ ハナヒリ ○ 富 △ ヨクメン
 ○ 君ハ其處ヨ居テ書物ヲ讀ミ子ハ此處ヨ行リ
 テ手習ハ △ 君ヲアナハ其處ニ居コラテ書物
 フリマシテ手習
 ○ 彼の小兒ハ何處ニ往キしヤ此女子ハ何時歸
 リシゾ △ 彼女ハ小兒ナリ何處ニ往キマシタ
 シタカカ此女子ハ何處ニ往キマシタ
 前ニ何時ニテ疑問ノ文字アルヲ以テカノ

問ノ詞ニ
看做セリニ

○ 彼の近き處の朋友の宅ニ往キ是ハ遠き處の
 親類の家より歸ル △ 彼女ハ親類ノ宅ニ往キ是
 類ノ家カ遠キ處ニモバノ親類ノ宅ニ往キ是
 ○ 近き處ハ二三町ヨモバノ遠き處ハ五六里ヨ
 餘ヨリ △ 近キ處ハ五里ヨリ遠キ處ハ遠
 ○ 彼の朋友ハ常ニ學問ヲ好ミ是ハ親類ノ能ク
 家業ヲ勵ム △ 彼は是ノ親類ハ常ニ學問ヲ
 勵マヤス
 ○ 學問ヲ好ムハ智識ヲ増シ家業ヲ勵ムハ富ヲ

致人 △ 學問 ヲヨキミヲガ 好キナレバ 富ヨクシナリニナリ

第四

○ 地球 △ イセカ ○ 日月 △ ツヒ ○ 晝夜 △ ヨヒル ○ 今

年 △ コト ○ 去年 △ トマ ○ ノ ○ 春夏 △ ナハ ○ 秋冬 △

△ アカ △ エキ ○ 東西 △ ニヒレガ ○ 南北 △ キミナミ ○ 風雨

△ ナメ ○ 霜雪 △ ヌシキモ ○ 寒暑 △ アサキミ ○ 雷 △

△ ナメ ○ 霜雪 △ ヌシキモ ○ 寒暑 △ アサキミ ○ 雷 △

△ ナメ ○ 霜雪 △ ヌシキモ ○ 寒暑 △ アサキミ ○ 雷 △

○ 地球 △ 日月を周して 轉じ 月の地球に 隨ひて 環

る △ 地球 △ 日月を周して 轉じ 月の地球に 隨ひて 環

○ 日の出る間を晝といひ 日の隠れて後を夜と

り △ 日出て居る間初マ晝ト申レ日ノ

○ 朝日のかさを東とし夕日の方を西といふ △ 朝

夕日ノアル方カハ東ニテ

○ 去年の秋の冷に 今年霜早く 今年の春の暖

雨をくまじ △ 去年霜が早ハ秋ハ冷カ

○ 春の日の林に花開き 秋の夕の叢に蟲鳴く △

春ノ日ハ林ニ花開カハ秋ノ夕ハ

○ 夏の南風多く 冬の北風多し △ 夏の南風ガ多

シテ冬ハ北風ガ多
ク吹キマス

○夏ハ暑クシテをりシテ雷鳴 冬ハ寒クシテ
ときシテ雪降る△夏ハ暑クアリマシテアリ

○暑キ時ハ草木茂リ寒キ時ハ泉水凍る△暑
マシテトキマス
キトキハ泉水草木枯サガ凍ルホマス

第五

○穀類 △アコメ、ムギ、キヌ、○魚類 △サカナノ
肉 △ケモノ ○鳥肉 △ニクノ ○野菜 △ゴニシ
モイノル、キイ ○菓物 △リンゴ、モロ、ルキ ○水 ○乳汁 △

チ、シル ○酒 △穀物ニテモコノ ○烟草 △ケムクリサ
マシテヤヒ ○健康 △ヤカコ ○勉強 △ダスイ

○日本ノ人ハ常ニ穀類魚類を食シ西洋ノ人ハ
常ニ獸肉鳥肉を食シ日本ノ人ハ常ニ西洋ノ穀

○野菜ハ煮タルを食フベク菓物ハ熟セざるを
食フベクハ野菜ハ生食スルナラシク菓物ハ煮タル

○水と乳汁ハ健康をたすけ酒と烟草ハ養生ニ
害アリ△水ト酒ト烟草ハ養生ニ害アリ

○勉強の健康より生る健康の養生より來る△
勉強ハ健康ハ養生ハ健康ハ養生ハ
マア康ヤスリカセハツハ養ハ
スリヤス加ハツハ生ハ

○養生の人々食物と飲物をとらざる者
朝寢と晝寢を戒む△養性トヤ
キナレ勉強ヲスルモハ朝寢初サ
キナレ勉強ヲスルモハ朝寢初サ
ラヒ晝寢トスルモハ朝寢初サ

第六

○衣服 △ノキモ ○木綿 △ワタ ○麻 △アサキ
緞 △カヒトコ ○毛織 △ケウチ △単 △セア
△ノカヒトコ ○ノキモ ○木綿 △ワタ ○麻 △アサキ
△ケウチ △単 △セア

ノモ ○帷子 △麻 △ステオリ △裕 △ハセ
○帽 △ノイ △襦袢 △ハシ △羽織 △ウキ
モオノル ○帽 △ノイ △襦袢 △ハシ △羽織 △ウキ
モオノル ○帽 △ノイ △襦袢 △ハシ △羽織 △ウキ
キニチハノ タクワ ノキ ツシ トプヤ ○袴 △ハシ △羽織 △ウキ
ハツキニチハノ タクワ ノキ ツシ トプヤ ○袴 △ハシ △羽織 △ウキ

○衣服の料ハ木綿又麻絹毛織り△衣
ハツキニチハノ タクワ ノキ ツシ トプヤ ○袴 △ハシ △羽織 △ウキ
ハツキニチハノ タクワ ノキ ツシ トプヤ ○袴 △ハシ △羽織 △ウキ

○暑き時ハ薄き衣服を著寒き時ハ厚き衣服を
著る △暑キ時ハ薄キ衣服ヲ著ル △暑キ時ハ薄キ衣服ヲ著ル
著る △暑キ時ハ薄キ衣服ヲ著ル △暑キ時ハ薄キ衣服ヲ著ル
著る △暑キ時ハ薄キ衣服ヲ著ル △暑キ時ハ薄キ衣服ヲ著ル

マラ著

○薄きハ單帷子以て厚きハ裕綿入り△薄キ衣

○服ダシテ申マカス衣服ハモノ申スハ帷子ハカ

○裕ハ合セたるもの綿入り綿を入るもの

○ハ裕セト申スハ合セテ綿ヲ入レル者

○肌貼くハ襦袢に表ハ服を羽織

○ハ衣ヲモテ綿入ト申スハ裕ニ綿ヲ入レル者

○ハ表ニケマスキハ羽織アリ

○帽をかぶり袴を著る△ヤツマカブリ袴

○雨の時ハ足駄をえき又長靴をえく△雨ニハ

○晴の日ハ草履を用か又履をえく△晴ハ草履

○ハタキタリ履ヲ

第七

○大工クイルトツ○左官△カビトヌ○家△ヒ

○柱△クイルトツ○壁△カヒルリ○軒△サコツ○中

○塗根△カビルトツ○上塗△カヒルリ○軒△サコツ○中

○机ツクリの墨硯筆紙を載せ書架より和漢西洋の書ツクリを積ツクリめり△机ツクリの紙ツクリハニ載ツクリせ書架ツクリニ硯ツクリハ和漢西洋の

○庭ツクリはあまたの花を栽ツクリえ池は多くの魚を畜ツクリふ△庭ツクリニハイロクノ花ツクリヲ置ツクリケリ

○春秋の景色もろり朝夕の眺望もよし△春秋の眺望もろり朝夕の眺望もよし△春秋の眺望もろり

第八

○起ツクリ臥ツクリ△オシキ○饑飽△キエ○賢愚△カレコシ
○富貧△マツレキ○老幼△イトレケナリ○教問

○恥ツクリ覺ツクリ△ボハチオ○藝ツクリ誨ツクリ厭ツクリ△ハワザ、
急ツクリ緩ツクリ△ルイヤガ、ユ○走步△アハユル○躓ツクリ疲ツクリ△ツツマ

○賤ツクリ△イヤ○弄ツクリ△ソモテア○棄ツクリ△ルス
○朝ツクリ五時ツクリは起き夜ツクリ十時ツクリは臥△朝ツクリ五時ツクリは起き

○働ツクリぐ時ツクリの勞ツクリを厭ツクリりば食ツクリをる時ツクリの飽ツクリくを求め

○賢ツクリき人ツクリより事ツクリを習ツクリひ愚ツクリある人ツクリより物を教ツクリふ

△賢ナリコナル人ニハ物ヲ事ヲ習ヒ愚

○知らぬ事ヲ知リたる人ニ問ふを恥ぢ△知

問ナキコトハ知リスベタル人ニ

○覺えし藝ハ覺えぬ者ニ教ふるを厭ハ△覺

テタル藝ヲハ覺ヤラズ者ニ誨マレ

○急ヨ走るときハ速キもども躓くことハ少シ△急

ク歩むときハ遅キもども疲るゝことハ少シ△急

ギテ走ルトキハ速キハ行ケドモ躓クコト

○無益の物ハ珍しと雖弄ぶべからず有用の品

コト少ナシルハ緩ビハ速キハ行ケドモ躓クコト

ハ賤しと雖棄つべからず△無益ハ珍シキモノ物ニモテ

モ弄ビナサルナ有用ナ品ハ賤

第九

○前後△マヘウ△左右△ヒダリ△勉△メツ△

情△タリ△難△キカ△易△キヤ△早△キハヤ△

遅△オツ△破△ルヤ△固△キカ△長短△ガナ

カレ△ガ△強弱△ヨツレ△優劣△オマサル△剛△

逆△サ△柔△ラカ△曲折△マガリ△撓△ム△

○まべての事前よりいそげば後必おろそ

かゝりあり △ 総レバ後レ物事必キ前ニバカリ急
スリマ

○ 左をのみあくま右必ひまくる △ 左カレダ

△ 勉 ヲト低クアゲルモ右キアノ方ハキ

○ 勉 ヲむるとの情らぬこと情るとの勉めぬこと

△ 勉 ヲ情ヲト云フハ情ヲナマズニセイダスコト

○ 勉 ヲむる時ハかたき事も成り易く情る時ハ易

ま事も成り難し △ 勉 ヲ出来キ易ク情ケマレトキ

○ 早く成るもの破とやく遅くあるもの

成ハ易キコトモ

堅固あり △ 早ク成ルモノハ堅固クヤデアリ

○ 長きよほことば反りて短きよ劣る事なり △

長キニホコリマスレバ反カテ

○ 弱きを守るとは遂は強きは優るときなり △ 弱

キ守リテ居マスレバ遂ニハ強

○ 剛きもの折ることより柔あるもの曲

ることより △ 剛キモノハ折レマスコトガアリ

マガアリ

○ 撓まび折まざる剛の徳曲らび逆ららざる

〇柔の徳あり △ 撓ハモレマセズ折レモレマセ
 ナズ逆モラヒモシマセヌハ柔
 第十 〇 徳アリマス

第十

〇 秤目口十毛を一釐とりひ △ 秤目ハ一毛
 申レマスト
 〇 十釐を一分とりひ △ 一釐ヲ十分ノ
 申レマスト
 〇 十分を一匁とりひ △ 一匁ヲ十分ノ
 〇 千匁を一貫目とりひ △ 一貫目ヲ千匁
 アスコトマステ
 〇 尺の名ハ十毛を一釐とりひ △ 一尺ハ十毛ヲ一釐
 〇 尺の名ハ十毛を一釐とりひ △ 一尺ハ十毛ヲ一釐

〇 十釐を一分とりひ △ 一釐ヲ十分ノ
 トタ申レマスト
 〇 十分を一寸とりひ △ 一寸ヲ十分ノ
 〇 十寸を一尺とりひ △ 一尺ヲ十寸ノ
 〇 十尺を一丈とりひ △ 一丈ヲ十尺ノ
 〇 升目ハ十才を一勺とりひ △ 一勺ヲ十才ノ
 申レマスト
 〇 十勺を一合とりひ △ 一合ヲ十勺ノ
 〇 十合を一升とりひ △ 一升ヲ十合ノ
 〇 十升を一斗とりひ △ 一斗ヲ十升ノ
 〇 十斗を一石とりひ △ 一石ヲ十斗ノ
 〇 十石を一斛とりひ △ 一斛ヲ十石ノ
 〇 十斛を一石とりひ △ 一石ヲ十斛ノ
 〇 十石を一斗とりひ △ 一斗ヲ十石ノ
 〇 十斗を一石とりひ △ 一石ヲ十斗ノ

十斗を一石とりひ

十石を一斗とりひ

○十斗を一斛とりひ△一斗ヲ十ヨセタルヲ
 ○地割り六尺四方を一坪とりひ又一步とりひ
 △地ヲ割ルマ坪ハ六尺又一步ハ四方ヲ取レタルヲ
 ○三十歩を一畝とりひ△一畝ヲ十ヨセタルヲ
 ○十畝を一段とりひ△一段ヲ十ヨセタルヲ
 ○十段を一町とりひ△一町ヲ十ヨセタルヲ
 ○路程の六十間を一町とりひ△路程ノ長サハ六十間ニシテ一町ニシテ一里ト申ス
 ○三十六町を一里とりひ△サヲ一里ト申ス
 文部省 小學連語問答 畢

明治九年十月廿七日 出版御届
 同 年十一月一日 刻成發販

編輯人 東京府士族 市岡正一

出版人 荒川藤兵衛

東京府平民 大七ノ六小區荏原郡 松原村四十六番地
 大ニ之十二區馬喰町 二町目第九番地